平成27年度

予算

平成27年度一般会計予算は

180億7,089万9千円

子育て支援と学校教育の充実に重点化

人口減少が進むなか、どのように地方創生を成し遂げるかが課題となっています。平成27年度は、これまで以上に児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を重点的に取り組むとともに、白石城開門20周年などを契機とした歴史資源を活用した観光振興などにより、第５次白石市総合計画に掲げる「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を推し進め、定住人口の確保につなげます。

一般会計、特別会計、企業会計をあわせた予算総額は319億918万７千円で、前年度当初予算額と比較すると19.0％、51億77万５千円増額となっています。うち一般会計は180億7,089万９千円で、前年度と比較すると19.4％、29億3,884万円の増額となり、５年連続のプラス予算で過去２番目の規模となりました。一般会計予算の内容はホームページでもご覧いただけます。

㊐財政課　☎22-1332　http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/zaisei/yosan/

【一般会計】　市の会計の中心となるもので、市行政運営の基本的な経費を計上した会計です。市税などを財源として、社会福祉や環境保全、各種健康診断などの事業のほか、学校や道路、住宅などの整備を行います。

歳入

皆さんに納めていただく市税は、個人市民税所得割や固定資産税のうち家屋の減額などを反映し、前年度比０・５％、1、651万２千円減の36億3、691万２千円を見込んでいます。歳入のうち一番大きい割合を占める地方交付税は、東日本大震災による公共下水道施設災害復旧事業と仙南地域広域行政事務組合が建設を進めている「（仮称）仙南クリーンセンター」整備への負担金に伴う震災復興特別交付税が増加する見込みであることから、前年度比33・８％、15億5、218万３千円増の61億３、787万８千円を見込んでいます。

市債は、今年８月から稼働を予定している学校給食センター整備やみやぎ蔵王白石スキー場大規模改修のため市債を増額したことなどに伴い前年度比110・０％、８億６、180万円増の16億4、540万円を見込んでいます。

また、国庫支出金は、民家除染が終了し、事後モニタリングへ移行するため放射線量低減対策特別緊急事業費補助金が減額となる見込みであることなどから、15・４％、２億９、380万７千円減の16億１、574万１千円を見込んでいます。

なお、繰入金は各種施策の実施に当たって不足する財源を補うため、財政調整基金からの繰入金13億円をはじめ、合計23億６、390万８千円を見込んでいます。

歳出

「第５次白石市総合計画」に掲げた白石市の目指すべき姿を進めるため、児童生徒の食物アレルギーなどに対応するための学校給食センター整備や、新たに小中学校全学年の学級編制の標準を35人とするなど学校教育の充実を図る事業などをはじめ、市民生活に必須の行政サービスを安定的に提供できる予算配分とする一方、経常経費は、集中改革プラン【第二次改訂版】に基づき削減に努めるなどメリハリをつけた予算編成としています。

目的別で前年度と比べた増減の主なものは、教育費、土木費、衛生費、商工費が大きく増加し、消防費は大きく減少しています。

教育費は、学校給食センター整備事業などの増額で、前年度比82・５％、10億３、278万１千円増の22億８、485万９千円。

土木費は、東日本大震災による公共下水道施設災害復旧事業に伴う補助金などの増額で、前年度比44・７％、８億９、033万円増の28億８、382万６千円となっています。

衛生費は、「（仮称）仙南クリーンセンター」整備に伴う仙南地域広域行政事務組合負担金が増額となったことなどから、前年度比19・０％、３億８、358万９千円増の24億58万円。

商工費は、みやぎ蔵王白石スキー場のクワッドリフト改修工事や企業立地優遇制度による奨励金などの増額で、前年度比49・１％、３億３、354万２千円増の10億１、296万２千円となっています。

消防費は、市内６箇所の公民館へ太陽光発電パネルと蓄電池を整備する防災拠点再生可能エネルギー導入事業の終了による減額などで、23・２％、１億３、815万３千円減の４億５、674万７千円となっています。

市債

市が道路の整備や施設の建設などを行う際に、その財源の一部として国や県、市内金融機関などから借り入れた市債は、平成27年３月31日現在で105億３、404万９千円（うち臨時財政対策債52億３、695万円）となり、前年度末と比較して０・６％、６、141万５千円増加する見込みです。

■目的別グラフ

民生費　48億559万円（26.6％）
- ●保育園などの管理運営や子育て支援費　7億3,460万２千円
- ●障害者総合支援費　6億2,215万４千円
- ●子ども・心身障害児者医療費助成事業　1億8,877万３千円

土木費　28億8,382万6千円（16.0％）
- ●下水道事業会計補助金（公共下水道施設東日本大震災関連分）　12億8,791万1千円
- ●白石沖西堀線街路事業　３億3,569万8千円

衛生費　24億58万円（13.3％）
- ●予防接種事業　9,104万円
- ●放射能対策費　5,730万4千円
- ●母子保健事業（赤ちゃん誕生応援事業）　3,610万円
- ●環境保全・環境美化事業　1,441万9千円

教育費　22億8,485万9千円（12.6％）
- ●学校給食センター整備事業　10億812万9千円
- ●学校ＩＣＴ機器使用料等　3,497万６千円
- ●少人数学級編制事業　3,364万2千円

総務費　21億5,314万円（11.9％）
- ●市民バス運行管理事業　6,424万円
- ●定住促進奨励金　679万円
- ●花と緑のまちづくり事業　119万円

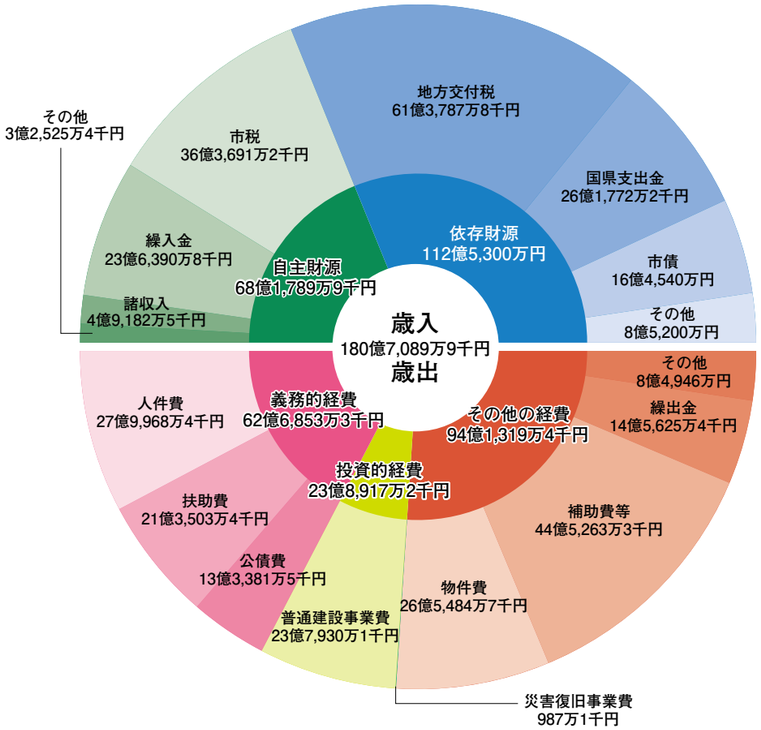
公債費　13億3,381万5千円（7.4％）

商工費　10億1,296万2千円（5.6％）
- ●白石スキー場整備事業　3億464万6千円
- ●企業立地推進費　2億1,920万円

農林水産業費　4億9,341万8千円（2.7％）
- ●農作物等放射能対策事業　1億1,599万5千円

消防費　4億5,674万7千円（2.5％）
- ●防災対策経費（安否確認フラッグ、水・食糧の備蓄、降灰袋、ゴーグル購入費含む）　2,007万3千円

その他　2億4,596万2千円（1.4％）



◆市民一人当たりの市税負担額　10万852円（前年度比　＋1,007円）

内訳）個人市民税　３万2,231円、固定資産税　４万9,033円など

◆市民一人当たりが受けるサービス額　50万1,106円（前年度比　＋87,560円）

内訳）児童や高齢者の福祉、医療費など　13万3,259円
各種健診事業や予防接種、環境保全など　６万6,568円
道路の維持・整備や公園などの管理　７万9,969円
小中学校や公民館、図書館運営など　６万3,359円　など

◆市民一人当たりの市債残高　29万2,109円（前年度比　－357円）

うち臨時財政対策債　14万5,221円（前年度比　＋10,590円）

【臨時財政対策債】
国が地方交付税として地方自治体に交付する財源の不足分を市が国に代わって借入するもので、その元利償還金相当額が後年度に地方交付税として交付されます。

※人口36,062人（H27.1.31現在住民基本台帳）で除して算出したものです。

企業会計

独立採算を基本とし、地方公営企業法が適用される公営企業の会計です。

企業会計		51億1,925万5千円
水道事業会計	収益的支出	9億388万円
	資本的支出	5億8,715万5千円
下水道事業会計	収益的支出	9億9,761万5千円
	資本的支出	26億3,060万5千円

特別会計

特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。本市では３つの特別会計を設けています。

特別会計	87億1,903万3千円
国民健康保険	46億1,026万6千円
介護保険	36億8,046万3千円
後期高齢医療	4億2,830万4千円